

「手帳記録」①②③（明治20年—29年）

タイトル	「手帳記録」①②③（明治20年—29年）
著者名	能 海 寛
雑誌名	能海寛研究会機関誌『石峰』
号	第28号
ページ	55—73
発行年	2023.3.15
E-mail	Sekihou@hazaway.com(能海寛研究会)

ISSN 1883-4183



中国僧姿の能海寛

能海 寛 略歴

能海寛 法名法流。 石峰と号す。明治元年5月18日島根県浜田市金城町長田（当時は東谷村）浄蓮寺に生まれる。12歳で得度し、慶応義塾と哲学館に学ぶ。恩師南条文雄師の意思を継ぎチベット探検の論文『世界に於ける佛教徒』を発表すると共に語学の研究と山岳登山による体力の練磨をなす。郷里にあつては地方史を編纂して和歌を詠み、益田沖の高島にて寺小屋を開設する。哲学者、探検家、宗教家として釈迦直伝の大蔵經の經典を求め英訳經典世に出す目的で当時鎖国中であつたチベットへ求道のため身を挺し仏教巡礼探検を实践した功績は偉大で有言実行と用意周到さは後世に幾多の教訓を残す。その苦難の34年の生涯に「般若心經」西藏文直訳（梵・藏・漢・英）など四巻が著書として永遠に伝う。

『手帳記録』 ① 能 海 寛

明治20年～21年(著作集 第10巻)

明治20年7月13日

午後4時45分、汽車にて摂津吹田621番地光徳寺方へ行。

8月1日 大阪ニ遊フ金を落とし大いに困難したり。

8月11日 野畑村桜井(義肇)君方へ行き、箕面山美濃瀧に遊ぶ。其夜、桜井君に宿し。明日午后、直海(玄祐)方へ返ル。

玄祐君と行いたり行がけ道に迷い山に入り困難す。

新田キ、方へ行く。

9月4日 大阪に行き玄祐君と同道せり。

9月5日 京へ帰校す。11時汽車にて12時40分。

明治20年12月27日 午後2時より

Mr. Mis. Sheperd. 元ニ行き洋食ヲ頂ク

♡hope happy now year to you.

Sittle misehef too mneh. The hand
thar gives takes,

□斗りて定らぬ。かみ異人□□くせら子は間にこひ

極悪最下ののる□の為に極□最上の法□□□
喜ばぬにて、いよいよ□は□ひなし善人すら生す。
□□や悪人に□や報謝と□は別にして、せねばならぬ報□怠り信に□□□□□

グレー氏碑文

土に沈し此下に
身をかくしたる若人は
富貴名明利もまだ知らず
学びの道も暗けれど
あわれ此世を打すてて
あの世の人となりけり
仁恵深き人なれば
天もあわれみ報ひけり
優き人見れば涙くも

独りの友のありしとよ
これより外に此人の
よ志あしともになを深く
多津ぬるとても詮はなし
魂ひ既に天に帰し
後の望を抱き津つ
神に間近くはえるなり

法の御山の桜花

昔のままに匂ふなり
道の枝折の跡とめて
悟りの峯の春を見よ
法の御山のほととぎす
昔のままに名のるなり
浮世は夢そみしかよと

驚きさます声を聞け

法の御山の秋の月

昔のままに照すなり

御法の風に胸の雲

拂ひてまことの月を見る

法の御山の白雪は

昔のまにつもるなり

身をも捨つる跡ふみて

深き悟りの奥を見よ

Kuwan Noumi

Kan Noumi

Kuwan Noumi

Kuwan Noumi

能 海 寛

Japan Iwami county

大日本石見国

明治20年12月31日記録

朝西本願寺と及び奥正寺へ参詣。日中後、東本願寺へ参り、西大谷、夫より高台寺と午鉦報の無に行き、明日より発することを聞き、後東大谷へ参り、祇園神社四条佛光寺へ参り返りたり。夕は7時后勤行。其後、法話11時迄。11時30分寝。

久遠□よりいままで流転せる菩薩の旧里はすてがたくいままでまいらざる安養の仕は窓からす

tan can you swim
ton you kwtor og a beiro
what do not oare,

4722 英斤
Osaka
noon cannon
naight

予がけいけんに 10 里あるくとおもへは 7、8 里の
とき足いたむ。15 里とおもへは 10 里比から足い
たむ。学問も日に 10 枚とおもへは 7、8 枚で、た
いぎ。大学校卒業とおもへば中学位ひ也。

What is your name My name is curions
Anntu Omomysli

明治 20 年 普通教校大行軍日記
第大隊 第二中隊 第四小隊 左半小隊

明治 20 年 11 月 11 日
午後 1 時出発 3 時 30 分伏見着
5 時 エンパーク 5 時 30 分出航
5 銭 5 厘 ミカン、カシ
12 日 午前 1 時大阪着 六艘の内
① 第 2 着 教員役員
② 第 4 着 一小隊
③ 第 1 着 二小隊
④ 第 5 着 三小隊
⑤ 第 3 着 四小隊 我はこれ
⑥ 第 6 着 予備
ハチケンヤ 6 時上陸

茶屋而朝飯直に御坊へ 7 時着
8 時より鎮台
11 時 40 分迄

Eanon 4722 英斤
きかい等 3 時間 拝見
1 時間宮口あらゆる 拝見
12 時 20 分御坊着 昼飯
1 時 30 分発
一銭 柿渋し

住吉神社に参詣し餅を三つ皮に包み
天下茶屋にて休
4 時 50 分堺着
6 時 夕飯
6 時 30 分、風呂 5 人にて行也 2 銭
斉藤、井上、橘、三田村、前田、能海五人
13 日午前 7 時超 8 時飯。
9 時出発まで浜へ
小隊運動、銃そう、体操、綱引き。
1 時間散歩

1 時 30 分より乗舟
3 時 30 分着岸 30 分休
4 時より帰路につく道まで 1 里程回り
足を痛む凡そ 5 時 妙国寺に遊ぶ
蘇鉄善きあり ドンチャン ドンチャン
カチ カチ カチ
5 時 30 分頃帰着
20 分の后夕食 6 時より外出 2 時間散歩
ビーフ 井上、清谷、桜井、能海行く
23 銭 4 人前 2 銭ミカン 壹銭わらじ
スリーブ

14 日 5 時晨起 仕度
7 時出発 住吉にて休
天王寺に 30 分伏 五重塔に登り散歩す
大阪を横切りて、河内森口にて中食
河内平方に午後 5 時着
住吉而三銭かし
天王寺にて登り代 壹銭
天王寺 壹銭 かし
天王寺 壹銭 みかん
天王寺 壹銭 かき
道中 壹銭 かし

凡そ 10 里 フロに行く
34 人也、第四小隊
午後 7 時夕食
30 分程過ぎて臥伏
15 日 5 時超平方より淀へ三里半
京へ 2 里半 〆 6 里
6 時出足 此日昨晚より腹痛にて難義す。
原因は一昨日あまり食物すぎて予食い過ぎなり。
従事男山神社に登る。金の党り

淀昼飯 上鳥羽にて休

3時30分帰校。

Sに行く 代7錢以上

○仏教

英文章、会話一演説一耶蘇一□の他教一法律

一政治一経済 英学 普通学

1月6日

科学哲学及び宗教の關係 徳永満之

物理学一班 今水題神

運動の法則及び其種類

智識の進化

筏に乗り舟を押す人は地に対しては動動せずにある。あるけどもさわの一と処にあるは動かぬ証拠。

他事の双□を久□□とは如何と云へ蓮如一言に聞わけて□□信ぜぬ人のことなりと。蟻は虫に□我かしこし人間も少しは劣ることある。べし夫れも人間にくらぶれば□れば知らず。

知らず知らずてい法りす叶うとあり。

自力の心行至らねば、そこで有難ひ善人すら□すなり

一年に一度花さく桜花。声限りに歌へ□□

地獄のさたも金次第、我顔の赤くおるは

ケットーか

反省にあれば酒にあらず

其理は初めてたから

21年はわかままそなと云うも来るこひともござ

8月23日

朝日新聞

大阪天満天神にて女残勝に預けたれ懷中より散錢を投げ懷中を散錢箱上におき余念なり火難、病難、盜難等の災難なき様との一□の□□念□ふと見れば懷中なしの延命と祈祷る内にもへる命の意か。

東京牛込区陸軍戸山 学校体操科学生

弔岡本斗八郎君之将来日本は君の日本、君の運動場は将来の日本なり。将来の日本を組織する君なれば其責任実に大なり。故に君は笈を他県に負ふけ蛭雪の勉強既に累年以て君が大任を尽されど企つ然り而して君勤勉の度尋御力に過るの余り

為に病根となり帰郷せらる。

予之を悲みおれり。本月25日の朝報あり。告て曰く君の心魂、今朝5時既に□郷に遊行せられたりと此時、予は予の精神何處に存するを知らず其愁嘆云う可らず。何を以て故に予深く悲むや他なし。君が大任を尽されとて将来の希望を懷かしき乍ら習字呼途にして果天の地下に永眠してなを将来日本は分子を欠けり。如何して完全ならしむべきか。

君不幸なる此喜へ君が精神は天かに満千君の希望を継て心す将来の日本を完全ならしむるものあらん。君安隱に善夢を結べ。グレー氏の碑文君に比すべし。故に以て爰に附書す。土に枕し此下に身をかりしたる若人は富□□名利もまた知らすもの□。後の望みを懷きつつ神にまじかくはべるなり。

明治22年5月30日

世界の人民を仮に12億とするととき3千7百万は何分の何人なり。然れば周縁あり。国の為法の為には身を捨てし。何となれば故に改め本双はとけい体は細器かい。うらにあり夫れを知らずとも上より用は向時と知る我等も其通り本双のけんの最短にて指示す。

明治 21

慶應 3 24

元治 1 45

文久 3 28

万延 1 27

安政 6 35

嘉永 6 41

弘化 4 45

天保 14 57

天保14年法懂生る

無我仮のものたとへばこけそうによはれてさかすきや皿を之れは御前のこれはわしのと乞へども皆良仁の夫れをありにわれの人のと云真に我のならたもとに入れ返る尔れば起る。これ仮我なり。今此から家等皆あり。ものよばれたときは2時間か3時間か短き時世は50年の仮りもの。其証は死するときは体はのこしたましいのこし

未来に出て行く。体は焼は灰なりともなる夫れは
天地間の口を仮りにかりたるかりものに□□す
るはいかぬ。

明治 21 年 4 月 14 日

大行軍 奈良、吉野、和歌山、大阪等なり。

5 月 21 日、降誕会に付嵐山の北方雄の南仁和寺の
西の山の間に於いて発火演習をなす。大いに難義
す。

21 年 8 月 24 日

本山には必ず外国の処世をとめ本国本山近辺に
一の洋館の学校を立て仏経学と普通学を転入校
し外国人への使教者となすべし教員は外国人及
び□□佛学家にして校長は外国に於ても名ある
如き日本人仏教者をすべし。

酒にようてゆうてはなひ
すひきょうするではなひ
□か即ちすひきよなり。
世の智と云うか
即ち馬なり馬と云うか即智なり。
之れを全ふするにこそはなし。

宗教は果たして蜚の如きか 松谷

文明政治、文明社界、文明人間、文明父母
バツコー2 百万円送れと 20 年 50 万円イタリ、
アメリカわらの為に作へ

人間の智に二種あり
世間智、出世間智、実地より見るに遠き慮りなき
ときは必ずときよばかりかけり。明日はとらなり
とも□はて用意すると出の世にまさる。かりに之
を万倍につりて、五倍とするものも出る。10 世は、
20 の代数式にて云へは 2 種智なるものなり。
馬鹿二種、馬鹿なるものなり。智故八部の聖□
どうするなり。

$$b-a=18$$

$$a-8=-8$$

画師的智

西洋の或る天子か我が気に入らねば殺す様な。無
道其人、画人を呼して肖像をなさす。画人は困り

て、此王はかた目すしてかためをかけは、起らる
と考へつつ一案を出し弓矢をねらう処を書きた
り。故に王喜ふと。

A fanlr unee denide eome twice eommitted

The tree mnst Bend while iris yowng

The sweetesr grapes hany highest

博士ファラデー氏の説

動物の発情期は、馬は 5 才。又、ししは 4 才。犬
猫は 2 才。兎は 1 才。之れに應して 5 倍の寿命を
持つ。

馬は 25 年。ししは 20 年。犬猫は 10 年。人間は
凡そ 15、6 才よりなれば 7、80 なるなり。

Send a fool the market and a fool he will return
again.

馬鹿を町に出しても又馬鹿で返る

Nhere the knor is loose she string slippeth

紐のとけるは結び目の無き處にあり

【解説】

明治 20 年 7 月 13 日、能海は夏季休暇中に、
吹田、光徳寺の親友直海玄祐の元に出かけて、長
期間滞在した。この期間に、英文会の将来構想を
2 人で練っていたものと思われる。9 月 4 日、玄
祐と大阪に同行し、翌 5 日に帰校した。

12 月 27 日、普通教校教師のセツパード夫妻宅
に招かれ、洋食をご馳走になりハッピー、ハッピ
ーと記している。英語力を高める為にかなり努力
していることが伺える。

21 年 4 月 8 日、釈尊降誕会にちなみ普通教校
内で「English Composing Socaety」(英作文会)47
名を設立した。そして、10 月 14 日、「The
Literature(文学)」(英文会の機関誌)を創刊した。
6 号から「New Scholar(新学生)」とタイトルを変
更した。22 年 1 月 6 日、13 号から「NEW
BUDDHIST」(新仏教徒)と改題。表紙の言葉を
Namo Tassa Rhagato Arahatosamma
Sambuddhassa」(パーリ語)。Every Sundays in
the week(毎週日曜日に発行)。31 号まで発刊した。

(隅田記)

『手帳記録』 ② 能 海 寛

明治22年(著作集 第10巻)

児玉覚輔
栗栖儀市良
野田玄策

Straisht
Sner 100 mile
260 nrde
26 deep
1867 ms.made
For 1 y. 3600 vessel.

3月15日
午後4時出発
第一徳山丸
16日 午後5時
宇品着港
明治22年なり。

有事にて着船難然
反省会の賛成員位をなり而も正会員故酔ことは
之なかりし。予の外の反省会員ならざるものは酔
も酔無茶苦茶にて吐く実にピュアなる。予も一時
は困りたり。大凡は吐かぬものか。2人の内5、6
名波浪デッキを越す。

水火程隙あるものなけれども釜よと、之れを仲立
となる。火と水は至り必用なれども釜の切少しと
せず。佛教と利益又□□□に依るか。苦は楽因楽
なり。乱は治の因治は乱の因善は悪の因なり。
盛は衰の因なり。
馬鹿は智者の因なり。
上り下の因なり。
山は海の因なり。
極楽地獄なり。
風穴は□生死即□
此世か未来なり。

明治22年3月

明治19年6月虎列羅

一年に一度さく桜の花声をかぎりに歌へ□

R 4,443 rin 15th meiji
1,073 rin ;
+3,35 sen
R 6,175 rin 16th
1,138 rin ;
+5,037 rin
R 8,200 rin 17th
834 sen ;
-1,4 rin
R 4,468 rin 18th
4,38 sen ;
+88 rin

寺忌中に逢し
寅狼象等の掛するを見る。これ書生の眼中なり。

良友会は1人位より外は、いまだ1人でも互に同
心なり。得ればこれ良友なり。本同志なれば百人
よりも正かよし。

縁と恩「動物書抜」

英の軍人某罪あり。アフリカの砂漠にかくる一孔
あり、見れば大獅子居る。大口開きて来る望む処
ある如く見るより見れば、口に骨のかかりあるを
見直し、之を取去りてやりたり。然る後にげんと
するも、にげさせずして、日々、鳥じゅの聞来る
居る。30日余遂に、后去りて来らず。3日間まで
も来らすうゆるて、以て出づ。補ばくせられて英
に送られ法として、獅子の箱に入れ殺す法なり。
之れに逢う。然る箱中にて獅子噛まず。由を聞け
ば先の獅子でありきこと。獅子たりとはのとき、
獅子は喜び喜び実に大事して、遂に罪を逃れたり。
狼の千匹づれ。

情婦情夫に夜々山中を越て通う。毎夜むすび一つ
狼に与う。后ち、狼袖をくわえて止らんとするも
止らせずなり。狼孔につれかえり見れば通路、月

に透かして、に□□ちのおとあり。通りのち狼孔
方出す。千匹つれならん。

本山□□

近くは御命日でも、互の持合いて参りか、おそひ
改良するには早くして、参りか有てもなくてもち
つとききたきものはおそくまいる様なす。佛教改
良も如何。
良友会改良

耶蘇は我方外は聞くもの無と、本校を吾ものと思
い少数にて、真宗如きものと変りて熱心に聞く。

信行両座

良友会員は何でも善をなし舟を持てて働くもの。
真俗難ともやると云うへと。
中々難儀なから老たからと云うのとら分け。
門徒は法然の三百人の弟子を分るが如し。
恩花にしばあげてあり。桃や梅、赤花をもらいあ
げたり。直ぐに散りて、また本のしば斗りなりた。

4月19日、朝葬式に付、法用。晩に行へし云は
れたり。予黙、ああ教育を知られざるなりと思う。
なぜ□くりて法用をなし。かりなして法用なすに、
□強せずとすまぬと云を知らせざる。法事禁酒家
をつとめよや。彼らも内々にて呑むなりと他はそ
しる是に反して熱心にさるべきは大事な伝法と
此禁酒会。

22年4月18日

無名滝

魚切より水道を通し紡績会社

養蚕は此村の蚕を他にて製せ共は大損。今より用
意すべし。

路上の大岩下五人種伏へき孔破してあり。

親方の定義

布施 財施論 法施論

2円84銭

明治19年9月13日、柏原通り

専光寺まで

14日、広島へ

反省会雑誌5部列車にて。3部大阪にて。9冊広
島にて売たり。やりたりしたり。

22年3月17,8日

広島にて藤永の田舎僧なると広島同行の開化せ
ざるに驚く。

少なるとき益見真大師張紙をもらうとは云はぬ
と子供心で寺にて云いし。これよいねと云はれ度
きは又もらいたいけれども左様思はせぬ為とは、
ああおかしなり。

June 22, 23, 24, 0, 26, 0, 28
29, 0, jnly, 1.0, 3, 0.5, 0.7
0.9, 0, 11, 0, 0, 14, 10, 16
0, 18, 0, 20, 21, 22, 23,
19 jor 32, nights.

Meiji no.1 th year

May 23 th aprie 6th
順念寺

Meiji 18th may

31th born.

18th may

21, 22, 23, 0, 25, 26, 27,
0, 29, 30, 1, 2, 3, 4, $\frac{13}{15}$

桑門

清谷

安本

大湯屋

平山

Goto

Elham mapal

2時間 神戸

1時間 多度津

1時間 尾道

1時間 高松

30分 鞆 竹原

25 to 5th from
February to March
22nd, Meiji. I have
known Mr. O. H.
Pemberton at Kyoto Hospital

H. S. Olcott.
American Buddhist
Dhammapala
Heavenly
In the Buddhist.

Sarparapa ya Kara
Nam Kinsaraya
Qampara adanam,
Yeta didra parid
M, Yeta Budoh
Mesaraman.

Not to commit any
Right to do good to
Rerify ones own
Thought this is the
Ceasing of Buddhas

【解説】

末尾の英文は、明治22年2月25日から3月5日までの間、来日後、京都の病院で加療中のダルマパーラ氏の看護を沢井、泰らと交替で見舞った内容を期している。3月15日、学資金の工面のため帰郷した。

本記録中に、前回、明治19年にコレラのため休校となり帰国した際の記述も混じっている。

『反省会雑誌』も上京途上、各地で販売している様子は、可成りの営業力が伺える。

「信行両座」とは、親鸞が法然の門下で学んでいた時に設けたという信不退、行不退の2つの座のこと。

帰省中は、故郷の産業振興についても、先駆的に考えていることが判る。この時期に、6月1日から7月10日までの間、石見学場(浄慶寺)で「仏説観無量寿経」の集中講義を海老原静寿師(本山

三等学師)から受けた。能海寛はこの講義を受け、「智慧と慈悲」を会得し、翌23年に慶応義塾に於いて立ち上げた「Wisdom and Mercy」(英文月刊誌)の発刊に伸展するのである。

「仏説観無量寿経」のサンスクリット経典の有無を能海寛が生涯を懸けて追い求めた重要な経典である。(隅田記)

手帳記録③ (明治 22 年～23 年)

『能海寛著作集』第十巻 67P～104P

一貫論

古三千口

円方后

○俗歌集

○訳語集

5 月 11 日 9 時

只今国にはいの様

なにがき口入る

Hiat opties electrein

仲猿楽町 17 番青山佐七方

改称成瀬方 藤堂

日本橋区小網町 4 丁目 7 番地

豊島勝太郎

12 月 17 日より 1 月 5 日迄

東京本郷区元町 2 丁目 47 番地

白井花方下宿処

吉野(精順)

赤坂区下宿

麻布区麻布町善福寺前 梅原融

京都市河原町廣小路上ル

岡田六郎方

武下松二郎

平山寿海

神田区表神保町 1 番地

岡田なを方

今村恵明

酒生恵眼

東京築地 3 丁目 64 番地

山本貫通

名古屋本橋町 39 番

桑門

1 月 5 日

芝区三田四国町 2 番地 4 号

松島(静寿)

山中(逸)

能海(寛)

古河(勇)

芝区三田豊岡町 63 番地

龍源寺

越溪宗逸方転す

1 月 25 日、午后

神田区裏神保町貳番地

川越屋勇二郎方にて

西依(金次郎) 山中(逸)

反省会、今は西に傾く。放置にかたむかず東京に移りし以て、予の同盟社の議論報告誌とし元より禁酒は充分にのべ月 3 回、1 回 2 銭。のこり税 5 厘となし度ものなり。

科目左之如シ

数学 代数 スミス氏 トヤハシター氏

英学

物理 科学

漢籍

文章

毛ット 1 枚

神田区猿楽町四番地

松本 逸

2 月 12 日晚転宅 藤堂(哲)

西依へ 2 冊 70 銭借しの處 2 円受取り残りを稗田君のにて差引たれば予は 20 か 30 斗り借りにて有之候也

萬国史

物理

科学

代数
幾何
漢籍
英学
文章

2 円 40 銭
1 円 60 銭
60 銭 2 度 日 □ □ 付
40 銭 毎度 少々
茶 20 銭
炭薪油 80 銭
50 銭 かに やり たる 處
3 円 25 銭 1 人 前

I am a baby of my hopes, in present day.
There are preuty rodders in my hopes,
that is learning the English Compositon
and becoming as Mr.Pryant,Setcspear,
Arnord macanley eto Witers, then
Philospist as Hilton, Nenton Sarvin
Spmcer ito. Then to becme as Haro
Kira as general Bnddhisn and then
Shinrn as Higuchi. Z. Naryis,
Har ugnchi, and after reformatis of
religion (reliy, aus shady) and ihought
ont the New Buddhism or trie
Natur col I am or philosehly or trie
Religion ant Wite it with the good
Bnglish compoctins,
I born with the tmenty thru yeard
old and I will becom in thirty toke,
the second Rshes and toke the
third hope in Jonry, in pity fourh
and soon, in Shot I nrld syces my
hops in 100 Year a ge.

鎌倉浜を由井ヶ浜江島開化帝 6 年 4 月
沸出す島なり弁財天あり
筑波山 2,897 尺
上下野上下惣常陸の大原中ノ山 西男体
東女体
東上の北に見ゆこれ也

花巖滝 48 瀧中禅寺湖より出つ幅 2 間、40 丈
野毛山の大神宮(横浜アジア欧の五億全球 5 分の 1
なり日本周三千□(20 日)
1 万 2 千 4 百尺
郷川 50 里
三瓶山 3,870 尺
大山語 877 尺
千賀浦より松島に至る 3 里
多賀城 日本式

千住、草加、越□、粕壁、杉戸、幸□、栗はし、
中田、古河、間々田、山□、羽川、小金井、石橋、
□宮、栃木県の徳次郎、大沢、今市、金本石、日
光、□山、中禅寺、大沢、□□□□□□□

明治 19 年 3 月 2 日
菅(和歌山士族)
京橋南紺屋町四番地
大日本新撰地図

博覧会開会日
23 年変事
議員候補人名
英学を共に尤も貧しき、書籍、雜哲(簡易のもの)
新聞 4、5 部、論説高い演舌をなすに必要な書
仕振り図書「音調学」諸先生の演舌筆記
18 日改正す
毎日新聞
候補者列傳 1 円一編政論 15 日より改正
朝日新聞
改進黨新聞 日本橋大傳町 2 丁目
新演舌正号 3 月 1 日 8 錢大成カン

絵入自由新聞 3 月 1 日改正
時事新報
東京日々新聞
日本

「讀賣、都、東西、湖江、
1 二+ 2 三+ 3 三+ 第 1
4 正 5 三+ 6 廿五
9 10 11 12
数日間答

式問

仏書専門

専門本科卒業

予は外へ君肉

登はアドベンチャー

井上に齊のことをたのむ

東京麻布赤坂

今井町 41 番地

英文雑誌

4 月上旬

At present day How do tou think

What is japanise

Bnddhists most

Neceosary dntijs

Fo ihr world.

I am very rapky

To su you wict my

Inferior.

L hend itut

Max jap Bsm

Not of puaehd

Baddha it is latter

Pinisn it is trud

James suaf in yokoham.rmust

Virit pim. when I go

To kamakura.

「後口の納屋の處へ竹藪中へ出しめ上り

小野原谷、大井谷、郷の見える家を

建つ又は薬師山の處にか様の處あるか」

「灰小屋」

「土蔵を建、宝物、書籍等をおさめ火事の

為をふせぐ」

「大惡地獄惡がき少惡畜生十界ヲ十生して

遂に佛となる小説は如何」

① 1 円 20 錢

② 40 錢

③ 50 錢

④ 30 錢

⑤ 10 錢

⑥ 2 円

⑦ 50 錢

〆5 円

⑧外ニ書籍料

⑨非常費

⑩衣類料

降寺日記を作ること法務等記し込む

郷か広島に校設。郷ハ三、四ヶ国のみにして、

広は四国、陰陽道、九州をうか可か

22 年 7 月 9 日ばん

すみよけれ四方山奥の岩清水に心しずかに

月を友とし

木魚がほしい

尺八がほしい

心をすまし月をなとし心すまして

Viney and

23 年 4 月 13 日午後

南豊島郡張谷村赤十字社ノ病院ノ處の方より

西へ散歩す。西洋館の大なる山谷草木間にあり

家少くして甚好日連男女小学運動会に出逢別

品さんもおれり御料局地四号の處を通る

「氷川大神」茶園、大野、麦畑の中に□□櫻の青

葉出たるはよし、竹あり、ナタネの花、

水車、寺、鉄道の處に出つ、牧畜、草ぶき屋、

鍛冶屋、に□がみ、若者、蓮華花をつむ小女等

二里散歩す」俵原辺にて□動物、雉、鹿、狐、兎

等捕へ動物園を造りたきものなり。おとし穴

にてとるべきか。

The

W.and m.

No.april 14, 1890.vol.

Nippon Tokyo nipaon ibupdhist

支、朝、印、セイ、オオスト、イタリ、モスコ、

ゼルヘン、フランス、アフリカ、ロンドン、

アイルランド、合衆、南アメリカ、地図を求め

全球の何々の所に佛寺をおりや□むべし

万国真宗(佛)伝道会長

○旅行ニ付入費払

麦帽 50 銭

メリヤス 40 銭 夏服の下は如何

カバン 70 銭

手帳 15 銭

ズ 壱円 75 銭

23 年 12 月の□甘かりせは直にかみけ□□白衣□
□□□通学す予は南條で学ばず嶋地を手本とする□□□□

酒を呑たとて□の差し障りにはならねとも酒の
みかたでか半分に法を聞くと遂吾等の本性の酒
の方にきとら大事の□を損す一返聞たてよいと
安心しておもて道師ももさいさいに仏さらえよ
と仰せられ誤りなしとも云はれにから先々酒は
少くして佛法に身をはなるか大事なり。

小石川区西江戸川町 有得館

立花憲仁

帰郷せば田まで書込たる

長田、波佐の地図を製し度もの

書籍、佛学、英学、普通学、作文、東脩 1 円。

小学生 100 人石見大教校普通生高等小学 100 人、

高中及就堂 100 人、佛学生 50 人

- ⑨
-
- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

初、母、兄、叔母、予、六人

京 廿日 35 円

奈良、吉野、伊勢

東へ汽 45 円

東 10 は 20 円 善光寺

京のは 石 30 円

ズ 160 円

3 月 10 日頃より 5 月 10 日頃まちをよしとす

慶應義塾は 安政 5 年の設立にして

23 年まで 33 年に当たる

数学 三

物理 夏期后

歴史 夏期

島尾にたのむ事

牛込袋町十二

番地石阪□方

4 月 古河勇 25 日ばん

幾何 円より后

算術 3 千題

代数 一貫論

歴史 法苑樹林

物理 白紙

化学

漢書

地理

訳読

4 月 19 日

第一本館東

第二

第四

水産館

博物館東側三館

美術館

機器館

第五本館

第三

農商地図館

八時に入り 3 時に出つ

断つべきもの

名誉心

女色心

増殖すべき事

智恵 慈悲 道德

活発 能辨英能筆

長野へ 10 日 60
新潟へ 10 日 60
宮城へ 10 日 60
東京へ 20 日 100
外ニ休泊 10 日
日でりで田が八われて
御免いくわれん
石陰社
陰石社

○日本の布教は郷国の僧侶に教化し時々巡回して、布教し又郷村近村檀家の布教を充分になすを以て英文会員の日本の布教とす。

○世界の布教は各国普通語なる英語をもちて佛書を訳し或は説明して事典雑誌新聞以て布教するをこれ英文会員の本職とす。

但し、自ら外国に出て布教するは勝手たるべし。

大同団の是非如何
将来の本願寺
祖宗協同是非如何
未寺論
教会の布教論
誠二及政府と
宗教及本山関係如何
教育論集経家
新聞雑誌宗教論
非撰権論
僧族是非如何
以上は□事務論

第二教理論
佛教と他宗教
宗教と人間の関係
佛教大意
真宗組織論

E.C.S purposes.

1. Trans lation,
2. Correspondence,
3. Magazine or News,
4. Foreigne Cultres.

5. College of 1, 2, 3, and 4.

所線之部
五感銀
見聞香味觸
眼耳鼻舌身口
能縁之部
思想録
考出識銀

スミスの大代数書
イコレーのエッセイ
パラダイスロスト
英文学
英七大家集
哲学原理

祖宗に用ゆる大□經(通例□□三部經如く用ゆる經)を求め度し本日なし。

齊に一貫論を早く送るべし。

講話集と哲学館講義録を送るべし。

及革命論も送るべし及算用書となり。

波佐の清浄米と水に養つ

私立高等小学校入費は三分の二を出す。12 円なれば年々2 名づつ一度は校生徒を東西西京に見らひの為に出す。

波佐、来原
雄鹿原、八幡
中野村

小僧 石波教校

石見教校

石陰学舎

北石社西側 開西普通校

石□

休業は 4

10 日、16 日、22 日、28 日。

18

英文専門、英訳専門、経論訳。

作文専門、新聞雑誌

宗教書

十八

佛、哲学専門、布教家。英人文者。

十五

尋常科、普通科。

十三

高等小学校

八

尋常小学校

三教論、

幼稚園

印刷局 英文、和文

50 月謝

1 円五十食

1 円小使

各々十度或は 20 度

○真理金針、○序論

○本論第一、○講話集

○哲学館講義、○革命論

○組織口教論、○反省会雑誌

○一貫論、○或問

暗記すべし予会ふときに此事

実を聞くべし

○海外宣教事情、○日本新聞

○日本文学全書

板布山鹿島

宝典 1908 ニ常州筑波山北辺とあり

酒のアルコール性は何處より来るや

糶から□□は甘酒は如何

如何せば門徒を喜ばし得べきや只心にありしかし

其法方をよくするにあり書をあたえもの□故へ

小□の□□をよく改良したのしみものと伝法残

すへし

明治 23 年 12 月試験を受ケ落第せば 1 月よりは何

処にか 1 年間教員をなし又 24 年 12 月に来り

試験を受く故に学問の予備

は此 12 月迄なり

芝区愛宕町 2 丁目四番地古市清人方

大田尾豊實

深川区御丹蔵前町 11 番地西光寺方へ

幾何

物理

化学

代議政体

桑門よりの手紙如何

哲学館に行くこと

不明「通万寿寺西へ入 17 番山陰道」

詰所

智恵と慈悲

智恵及慈悲

Wisdom and Mercy

智恵に二種あり世智と出世智也

The hood of mercy

平山、武下、綿谷、垣山、清谷、

梅田、笠原、橘、宮、川口、堀、

上田、荒木、後藤、吉田、加藤、

島津、久富、橋本、(能海)

凡テ四級生(20 名)。

What we mean

No.1 carresp on drice.

日光迄 8 日、2 分 5 りんにて 4 日を以て達す。

日光より大凡 60 里、仙台。4 日松島へ。

3 口合メ大凡 100 里。

往復 2 百里、1 日 8 里とし 30 日。

見物日、30 日合メ 60 日に 2 百里の間の散歩。

The souce English compositon 21

St antum

ローマ史、萬国史よむ

反省廿五終る一周年及少年の禁酒

禁酒教育、村内の少年を幼年禁酒

会員はなすに如何なし。

【解説】

この手帳記録は、明治 22 年の京都文学寮退学後の 12 月から 23 年の慶応義塾時代のメモ書き記録である。

明治 22 年 12 月 13 日、能海は友人の西依金次郎、松島静寿の 3 人で東京へ上京した。3 人は、本郷区の白井花方へ 1 月 5 日まで下宿する。松島、山中、能海、古河の 4 名は、芝区三田四国町の田中きん方へ転宿。1 月 14 日、古河は転宿。1 月 19 日、「経緯同盟会」をつくる。1 月 25 日西依、山中は、神田区裏神保町貳番地川越屋勇二郎方に転宿。能海は、芝区三田豊岡町の龍源寺へ転宿。2 月 19 日、古河が能海と同宿して、「木石書院」と名付ける。

この手帳記録によると慶応義塾に入学に当って、後見人となる豊島勝太郎氏の住所をメモしている。

東京麻布赤坂今井町四十一番地は、E・アーノルド卿の住所である。3 月 22 日、23 日、30 日と 3 回訪問している。23 日には、アーノルドが京都に行くことを聞く。吉谷覚寿を紹介する。30 日には、アーノルド宅の庭をスケッチして、英訳詩をいただいている。

慶應義塾でも英文会をおこし同窓の四級生の平山、武下、綿谷、垣山、清谷、梅田、笠原、橘、宮、川口、堀、上田、荒木、後藤、吉田、加藤、島津、久富、橋本、(能海) の 20 名で月刊英文誌『Wisdom and Mercy』(智恵と慈悲)を発行する。メンバー 20 名が判明する記述である。

桑門至道氏より哲学館への転学の勧めの手紙を受取った能海は、「通万寿寺西へ入十七番山陰道」詰所の住所が判明せず困ったことであろう。

結果的には、この書簡が能海を哲学館へ転学する決断となったことは明らかである。

12 月末、能海は、南條より嶋地黙雷を手本とすることを記している。仏教者としての生き方に共感したのであろう。

能海は、石見教校設置計画は、幾度か記している。23 年の時点では、小学生 100 人。石見大教校普通生高等小学 100 人。高中及就堂 100 人。佛学生 50 人規模の学校を描いている。

4 月 25 日晩に、古河勇は、牛込袋町十二番地石

阪方へ転宿したことが記されている。

英文会の目的が、翻訳、通信、雑誌又はニュース、外国文化、外国の大学の学習内容の 5 項目を英文で記している。(隅田記)

手帳記録 ④ (M24 年～29 年)

『能海寛著作集』第十巻 105P～346P

京橋区銀座 4 丁目 2 番 教文社

○貫名 菰翁

小石川金富町 25 番 龍閑寺

四天王門 沐浴堂 山門 鐘楼 観音殿

祖師殿 王廟殿 本堂 祖先殿

京橋区通商井口

浦塩ストック

一倍位ノモノ 40 円

朝鮮ノ倍

外務省より学生 350 円

○東方侵略浦塩ノコト三十頁程アリ

1 tea cupsetc.	50
2 handkachief	50
3 japanese stock.2	40
4 mouch of watr drapping	20
5 nichikiye	50
6 silko powden.	30
7 ehakusen	50
Obi	100
700 donr	
700 aecend	
700 brother	
700 f□□□□	
Kokusei ippan	30
Nome card	30
I dama in map	25
Tem plc print 500	250
Clnl print 100	50
Sign	45
tokyo cake	100
sonp	20
raban	250

○ 寒暖計

○ 凱旋、出征、勳章図三枚

○ オルガン譜及オルガン

○ 名刺 100 枚

○ リスリン石鹼 銀座 1 丁目佐々木口兵衛

○ 仏蹟の事 説明書

○ ペン 日本帳 博物館行 銭調べ

国へ書 大阪大成館の事 父時作の事

天然草句経

○ 日出山 明治 25 年 1 月

やまのはに かくれる雲も はれそめて

いつるあさひの かけのさやけ口

○ 豊後国地藏寺門前乞食辞世

潰出人間界忽今上昊天即捨敵蓑笠夢醒寺門前

○ 倫理書 杉浦着

立身篇 独立精神 齋家篇 親子夫婦六道 處

世篇 仁義信礼

報国篇 忠君愛国一途 博愛篇 斯民相愛、井上

所撰

○ 富士名月 24 年 夏

富士のねに 去りなき月を 見る人の

ふく笛の音も いまはたえなる

○ 火氣上升煙 雲氣黴嶮雲 神龍吐津霧場埃
扮

人塵酒為放逸門嬋為生死口金銀性患重邪命懷戒
根

○ 分け入れは 人の背戸な里 山桜

○ やがて死ぬ 景色ハ見へぬ 蟬の声

○ 無き人の 小袖を今や 土用ぼし

○ 夏瘦と 人に答へて 涙かな

○ 秋の夜は ながいものとハ

まんまるな月 見ぬ人のこころかも

○ ふけてまでども 来ぬ人の おとづる

ものハ 年ばかり

○ 数ふるゆびの ねつなきつ

わしやてらされて 居るわいな

सर्वपापास्याकरणं ।

कुशलस्योपसंप्रदं ।

स्वचितपरिदमनं ।

एतदबुद्धानुशासनं ॥

「七仏通誡偈」漢訳

諸惡莫作

衆（諸）善奉行

自淨其意

是諸仏教

Not to comit any sin

to do good to purify

Ones own thonght

This is the teaching of buddhas.

○ 諸惡莫作衆善奉行自淨吾意是諸佛教

Pe ace hegin ning to he, decp as the sleep of

The sea when the stars their jaus glars

In it blue tranguillity;

Frm thi jiret to the second birch,

To rest at the wild waters sest

Wich colours of he auen on theis brcast.

Edwin arnald

Mathew chap.v1.

Our father which art in heaucn, hal.

Cowed be thy name. thy king dom come.

Thy will he don't in earth, as it is in

Heauen. Isicn this day aur daily

Hrcad. And forgivc is our debt, as

We forg iue our dchtors. And lead

Us from evil ; for thine is the king.

Don and the power, and the glory,

For ever. Amen.

○ 荀子曰学不可以已青出之於藍而青於藍冰水為之而寒於水。

プラトーの青は、ソクラテスの藍より出て、アリストートルの氷は、プラトーの水より出つ。

○ アリストートルの歴山の師となる鬼に鉄棒千歳の一遇。

○ 世に博識なる者は則ち精密ならず、精密なるものは博識ならず

これ人世の通患なり。アリストートルは、共に者を兼す。

○ アリストートル曰く、哲学の虚妄懸空を疑もの多し。果しるか。

果して尔りとする所以を証明するには、又必哲学の考究に拠らさるべからず。

故に、哲学果して学ぶことを要するとせば元より当に之を講究すべし。

仮令之れを、学ぶことを要せずとするも、又当に

之を考究すべし。尔すざれば其之を学ぶことを要せざる所以の故を知るに由しなければなり。

○ 宗教には、唯一の法王学問には、唯一のアリストートル、これ闇世の状し。

○ 勉強耐忍、即ち英才なり。

○ 心身極めて法弱なる、ルイ八世を綽名して獅子という。或人解して曰く、これ賢王の子にして明王の父なればなりと。プラトーは其人ルイの如くならずして、而も師には、ソクラテスを有し弟には、アリストートルを有す何と評すべきか殆んと類なし。楠三代記、真田三代記は我邦軍書の見べきものなれども希臘の三大哲学代記に及はず。古今無比し。ソクラテス師プラトーの背の平たきを以て、プラトーとよぶ之より名を得。

○ ソクラテスの弟アンチステニス犬儒学派の祖、其弟ダイヲヂニース眼中人なり、プラトー氏の宴会に招かざるに來り美き敷物をふみ曰く、我れ如此くにして、プラトーの放漫心をふむと乃チプラトー答へて曰く、嗚呼ダイアニース汝は猶を一層甚たしき放漫心以て、之をふむかと流石のダイラゼニスも一言の答へなし。

○ 暗中に住みかげを見て(始めて)すべて物は皆此の如く無形有色のものと思う迷哉五感にふるる処、皆萬物の外象のみ。其本質を知るは理想にあり(予考)。

○ 学者の三法の

1 無限の真理を愛すること。

2 此真理の現に世に存すること信ずること。

3 常に此真理に近接せんことを冀望する。

此外に先輩の口説を見て公平なあるみと先輩を友愛兄弟の如くすること。

○ ライブニッツ曰く、理学士たるものは前人の説に於て、其善きものは固より之をとるも其務る處は前人に超過するにあり云しむ。

ライブニッツは氣宇極めて、宏大其学をなすや闘はさるなきを欲し祖家し説を閱して甲より乙に涉り、丙より丁を経宛然旅客の站易に故けるか如くして、其間に自家独得の見を雜へて一体とす。

○ 十字架は天に昇る梯子し。

○ ローマのレセロー曰く、ソクラテス出でて、哲学を天界より牽ひて地上に降らしめ、以て人世の常事に供したりと。

○ 天下を動んと、欲するものは必ず、先づ、自ら動くべし。

○ 胡敬齋曰欲為天下第一等人当做天下第一等事。

○ ソクラテス曰く、我れ固より以て知ることなし。但た、我れの知ることなきを一事を知るのみと。

○ 其身を真理界の産婆に此三人心の中に在る真理を引き出ことを以て期す(ソ氏母産婆)。

○ 予考ふるに、ソクラテスは
かんか^{かん}金穴(小鉄)を洗う川に流れ込む清水の如く清却て多くの濁水の為に濁なるが如く見ゆるも、其实反対なり。学問道德を兼有するは氏と釈迦、孔の三聖願。

○ 古人曰、士有三品志於道德志於切名志於富類(志於学)學術にもあれ事業にもあれ新發明を為し改良の道を計り世の進歩を助るものは人の人たる所以の道を尽したるものと云べし。

○ 人一能之已百之人十能之已千之果能此道矣雖愚必明雖柔必強。

○ 君子は天下の憂に先たちて憂なり。天下の樂みに后りて樂む。

○ 予考、吾人は客觀的にものあるや否は知る能はず。皆主觀上を経ざれば何も知ることを得ざればなり。

○ □、富、美、哲学の女は心多ク邪、惡、慢、を充たさる貧、錢、魂、無学の女は心多く直、善、謙等の□法を以て充たさる。后者をえらばざるべからず(予考)。

○ 完全最上の萬有は皆理想中に存して現象になかるにし(予考)一月廿五日記已上三件。

○ 「吾は吾を思う」強て我れの存在を思んとすれば其思はるる。吾が果して実際に存在するときには必ず一度は感覺を通過□來らざる能はざる筈なるに「我」が感覺を通過する杯とは思ひも実のらぬ事なれば「吾」の別段獨立して存在せざねは疑を要せざるなり。

○ 基督教新論は予が着書の心地せり。

○ 図書館よりかえる途中獨笑せり顔白々。

○ 九段近衛兵はや足の歩み方何と馬鹿らしきや。

○ Heven helps those who help themselves.

○ くせぐせは追つく貧乏なし。

○ With uuill one and any thing.

○ 光武帝曰有志者事竟成。

○ 馬哈默の養子あり。云く、人は其両親に似るよりは多く其時勢ににるものの如し。

○ 又曰人事は皆神意に因りて、人為の之を奈んともすべからず。

○ コーランの宿命説誰れか、其定命を伸縮するを得んや。運命は深夜にも其馬に鞭つし、或は寢旅に眠りし時、若くは弾口矢石間に奔走する時無常の天徒は必ず汝を促すべし。

○ 凶案は一定して復く動すべからず唯其綵色を取捨するを得べきのみ。吾人造化のかを制せんと欲せば之に抵抗すべからず。其力をして互に相制せしべし此説は能く失望を変して耐忍となし、人をして即ち希望を□倦せしめ大事□來り龍られたるものなり。諺曰失望はこれ不覇の人なり。希望は是れ奴なり。

○ ビルマ先哲曰石は精神の眠れるものなり。動物は精神の夢みるものなり。而して人は精神の寤覺せしものなりと。

○ 大塩平八郎曰 愛而近之則溫其體馴而奔之則燒其手民猶火也勿言可悔。

○ きふむまれしみどり子も、希され草紫のつゆときえ ゆんべもらいしはなよ免も こよいは夜己の希無里とな里。可愛小供をのこしおき、イヤヂヤ、イヤヂヤ死んだらうとは、あの小兒を前に申しサブヤナヒテクラスデアローアー不便や可愛やイヤヂヤ、イヤヂヤ死にともなして死する母もあり。或は可愛子供の親に先立ち死するものあり。とかく浮世は、ままならぬ無常の嵐はたれもいかんともなすあしくみず。

○ 道德家とは何を表準にして云のか、孔子によれば儒教の道德、佛教によれば、佛教のヤソ教によれば、ヤソ教の世会。普通の道德とは何ぞ研究せざるべからず。

○ 隅田川のさくらのいふ事にや、子ん子ん子かおわれて花見に来、一年立ては、やつしてく、島田でいばり花みにく、またとし立てば、夫と共手に手を引きて花みる人またとし立てば、年老ひてむす免よめ子をつれ來少たして、はや見にもこぬ。

○ 客観上幾万の敵を有すと云へども、主観上一人の敵を有せざるは実に寛なる哉仏心と云のへきか。

○ 地獄極楽のお経に説くが如き全くたとへなり。形容なり。尚を三途の川死出の山と云が如く之を真の事と思うは愚の至りなり。但し真にありと思うもある点よりみればよし只迷う勿れ。

○ 深井の水を短き、つるべにて汲む如し。深き真如の水を浅智にて汲み難なり。

○ 流るるとは或意味にてはおしきものの仕様なり。すたるものの意に用ゆ。あながちにやけるとか云う意にあらず。質か流るるさんがながれながれた御命日は御流れと心得べしとか云う。皆おしきものの詮方なく無なくなる時用ゆる心なり。

○茶道 ○插花 ○音楽 ○植木 ○図画
○彫尅 ○刀剣 ○撃剣 ○射弓 ○逐磨
○詠吟 ○体術 ○御馬 ○書字 ○演舌
○航海 ○農学 ○傳記 ○紀引 ○張物
○書林 ○学校 ○出版

○動物 ○植物 ○金医 ○歴史 ○地理
○人類 ○哲学 ○宗教 ○曆数 ○物理
○化学 ○国学 ○漢籍 ○洋楽 ○梵学
○博学 ○天文 ○声口

地図 旅行 統計 縁起 傳記 美術
天文学 人類学 博物学

□□着 浮城物語

○英国改良を以て政治の進捗を□り好結果を得しも佛国は革命を以て之か進歩を望みしも得ず。

○我 分解

悪 貧 客口 拙芸 拙学
善 氣 信(無病) 家族 親戚 履歴

經濟 銀行論
衛生論
美術論 清潔、庭園、文学
道德論
宗教論
知識論 教書(毎月村内有志語話演

工業論 舌懇話会)
殖産論 学問經濟実業、波佐俱樂部
他外国論 發起人十人、三浦、岡本、
石田、竹中

入蔵

波佐俱樂部

寺檀団体

郷檀分記

宗教学論

1. 入蔵 2. 北開 3. 宗改 4. 自脩 5. 英梵
6. 転地新建 7. 宗教学 8. 寺基 9. 通航
10. 航雲 11. 地学 12. 寺改 13. 測量
14. 俵改 15. 柏園 16. 生活上 17. 実業

○ 西域記紀文

○ 日清貿易商会書

○ 清国通商総覧 2冊 4円

東京小石川区指ヶ谷町 19 番豊川方 麦生生

越前国吉田郡松岡村但馬岩松方 菅実丸

越前国今立郡国嵩村村国 藤堂哲

筑前国嘉麻郡宮野村 花田口

麹町区元園町壱丁目 16 番 子安南條

東京下谷区谷中三崎町 18 番 西依金次郎

三重県伊勢国鈴鹿郡安知本村 奥山法隆

伊勢国一身田真宗本山専冬寺開明孔別館 川瀬
良深

新潟県刈羽郡大洲村 橋本倉之助

京都六条 梅田定

常陸河内郡生板村妙行寺 大宮孝閏

三河国岡崎町学康生町 269 番戸 □静

豊岡町十八慈眼寺 松見得聞

小石川区白山前町 48 番石原方 三宅英慶

浅草九吉野町百廿五番瑞泉寺 伊達靈口

熊本県玉名郡名貫村 1181 国教雅法社

○下京区間の町上珠数下ル渋谷方 □□

○横須賀要塞砲兵第一聯第一大三中 植沢孝雄

静岡市小口菱町 1 番 南莊

福岡県筑前夜須郡三根前 佐藤長太郎

外神田佐久間町三丁目 37 番 小栗栖香頂

山形県羽前国北村上郡名取村 松原松二郎

長崎市東中町 69 番 松島
福井県賀横濱浦 清谷
本郷区湯島三但町 69 番 佐藤彦七方 渋谷
荏原郡品川町元北品川宿 95 正徳寺 平松
滋賀県浅井郡竹生村真宗寺 仲西祐
東京芝区愛宕町 3 丁目 1 番集善館 石見郷友会
岐阜県安八郡深渡村 子安善義

隅田の桜のいふ事ニや洛陽口楽
ねんね□□れて□□てく飛去て飛来
手はさくらの十八にや
島田てやつして花見にく

洛陽女兒

ま□手立てはつまと共
手に手を引きて花見にく
まさ手すくれ□は手□いて
よめやまこ子をつられてく

【解説】

この手帳記録は、明治 24 年の哲学館時代から
29 年の時代のメモ書き記録である。

24 年夏(8 月 13 日)には、富士山登頂の歌を詠
んでいる。これは、24 年 7 月 22 日から 8 月 18
日までの「東京南西近県紀行」の旅行中に詠んだ
歌である。

サンスクリット語「七仏通誡偈」は、「すべての
の悪をなさず、善を行い、自分の心を浄めること。
これが諸仏の教えである」の意味とされている。

E・アーノルドから頂いた英詩が記されている。
頂いた「英詩諸悪莫作衆善奉行自浄吾意是諸佛教」
は、「英国大詩人アーノルド伯日本渡来東京滞
在の節予も在京中にて飯倉之寓居を訪ひ数語之
後天下和順之経文英訳を示し此詩を直に作り
予に与へらるるものなり伯の直筆にて有難き
物なり」の裏書をして、弟の斉入へ譲り渡して
いる。

また、友人らの住所録も掲載。この時期の交遊
関係を知る上で貴重である。(隅田記)